

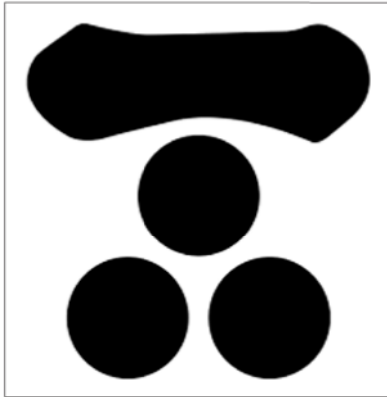
時には空を見上げてみましょーんぢ

ビ ジネスジェット
 スジェットというのは、数人からせいぜい十数人乗りのジェット機です。

従来は、有名人や富裕層が乗るもののように思われてました。ホンマかどうかはしませんが、豚骨ラーメン食べに、福岡までビジネスジェットで日帰りした若い起業家がいたそうです。

それが新型コロナウイルスのおかげで、ぜいたくやなくて、スピード速いから時間も短縮されるし、衛生面からも利点があるということ、えらい重宝されてるといいます。

僕ら(株)アオキのベースは、やはり飛行機ですので、大いに参考になるニュースです。



●冬の星座の代表・オリオン座は日本では^{ウツギ}鼓星と呼ばれ、毛利家の家紋「長門三ツ星」にもなったと言う

元チャンバラ好き少年として、言わしてもらうなら武器は一つではないけません。
 大刀、小刀、それ
 れに手裏剣持ってた
 ら、戦い方もいろいろあります。

ようありますやんか。小説でも映画やテレビでも、追い詰められた主人公が、大刀を投げる。敵が、一瞬、それに気を取られた隙に、小刀で切り込む。意外な展開で、相手は啞然としたまま倒れてまう……というのが。

それこそ、生き残るためには、持てる武器をなんでも使わないけません。

手裏剣だって、相手を倒さぬまでも、十分時間稼ぎには使えます。

企業の大きさにかかわらず、事業にはいくつかの柱がないといけません。

お宅の企業は、大刀、小刀、手裏剣、持ってまっか。それも時代とともに変化させんといけません。

大刀が小刀になったり、手裏剣が大刀になったりは、当たり前やと思います。

ボーイング社の認定工場がウチの転回点でした

富士フィルムホールディングスという会社があります。名前の通り、カメラのフィルムをつくってた会社です。

「カメラのフィルムでなんですか。それは」という世代も、



●(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)

1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。



もういるかもしれません。デジタルカメラが全盛やからね。そやなくて、カメラにはフィルムを入れて映してたんです。富士フィルムの他に、アメリカのコダック、サクラカラーのコンニカが有名なフィルムメーカーでした。どないなったのかなあ。あの二つは。

富士フィルムも、フィルムはまだなくしてないものの、ほそぼそとしか流通してないようです。

若い世代に、この会社について聞いてみると、化粧品をイメージしたりしてます。フィルムで培った化学の技術力を使って、医療や医薬品、化粧品に打って出てるんです。

フィルムという大刀は、いまや手裏剣化してるんです。いや印籠かもしれんね。

ウチも最初は、僕の親父がブリヂストンタイヤの部品製造から始めて、MD-11というジェット機の量産機部品を、受注するまでになりました。

さらには、ボーイング社の複合材認定工場の認定を受けました。今でも思うけど、これがウチの転回点やったねえ。

そして、同じ空でも飛行機やなくて、人工衛星「まいど1号」を、東大阪市の中小企業の地域おこしのシンボルとして、打ち上げました。

**小泉純一郎さんに
関西らしくて面白いねえと言われました**

当時の総理大臣だった小泉純一郎さんに、人工衛星の名前を聞かれて、まだよう決めてませんでしたが、とっさに「まい

ど1号です」と応えて、「関西らしくて面白いねえ」と言われたのを、懐かしゅう思い出します。

打ち上げたのは二〇〇九年でしたから、もう一〇年以上も昔になりましたなあ。

それから、無人飛行機を宇宙航空研究開発機構、つまりJAXAと開発したり、大阪市立大学と連携して「医療コンソーシアム」を設立したりしてます。

飛行機や人工衛星やったり、医療の現場で、お医者さんや看護師さんが使いやすい器具を考えたり、そして、今度は水など環境をテーマにしようと考えてます。

空からだんだん地上に降りてきてるような気もしますが、まだまだウチの大刀は、航空分野です。

そういえば、昨年はコロナ禍で世界中大変な思いしましたけど、小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星から帰ってきたのは、宇宙関係者だけじゃなくて、みんなに明るいニュースを提供してくれました。

日本の科学技術がすごいと思うのは、「はやぶさ2」は、小惑星リュウグウのサンプルを地球に送ると、また別の小惑星に旅立ったことです。到着は一二年後らしいです。

宇宙は、放射線などが降りしきる厳しい空間です。機材の劣化なんかも心配されるでしょうが、そんなデータも今後の宇宙開発に生かされるのやと思います。

どうですか。空にはまだまだ魅力が詰まっていますなあ。時にはコロナ禍の地上を離れて、空を見上げてみましょうや。冬の夜空は星座がよう見えますよ。